



約半年間の練習の成果を観客に披露した、子ども創作能『伊豆の頼朝』

8/29 十年目のリニューアルを 狩野川能アックスかつらぎで開催

昨年まで狩野川河川敷を会場に、開演時間を夕方～夜に設定していた『狩野川新能』。しかしここ数年、雨天による会場変更が続いたことや、旅館宿泊客の来場も見込む等の理由により、十回目の今年から、『狩野川能』として趣向を変え、アックスかつらぎを会場に、開演時間も早めた開催となりました。

演目も、第一部の子ども創作能では源頼朝拳兵から山本兼隆追討を題材にした『伊豆の頼朝』にリニューアル。地元小中学生が、約半年にわたる練習の成果を披露しました。また第二部では、プロによる仕舞『熊坂』、狂言『瓜盗人』、能『望月』が披露され、来場者は本格的な能舞台を堪能しました。

PHOTO ぎやらりー

8/18 世界を舞台に活躍を デフリンピックサッカー女子日本代表

デフリンピックは、四年に一度世界規模で行われる聴覚障害者のための国際競技大会。台湾台北市での『第二十一回夏季デフリンピック』（九月五日～十五日）開催に先立ち、サッカー女子日本代表に選ばれた佐野和美さん（立花台）と母親の由美さんが、市長を訪ねました。由美さんは、「デフリンピックはまだあまり知られていない大会。聴覚障害は見た目には分かりにくいですが、世界の舞台でがんばっているのを知ってほしい」と語り、市長も「まずは、皆さんに知ってもらおうのが大事。今後活動もPRするお手伝いをしたい」と述べ、和美さんに対して「自信を持って頑張ってください」と激励しました。



市長と握手を交わし今後も活躍を誓う佐野さん

8/20 子どもと一緒に介護予防 地区サロン異世代交流事業

高齢者が子どもと楽しいひとときを過ごし元気になり、介護予防の一助となること、また子どもが高齢者に親しみをもち情緒豊かになることなどを目的に、市は、地区サロンと保育園の異世代交流モデル事業を実施しています。この日、みどり区のサロン参加者と子育て支援センターすみれの親子とで行われた異世代交流事業は、ゲームや伝承遊び、歌の交歓などで盛り上がりました。十月以降もこの事業は、いちごの里サロンと子育て支援センターたんぼぼ、守木サロンと長岡保育園、寺家サロンと堀越保育園、三福サロンとひまわり保育園の間で行われる予定です。



園児の前で歌や踊りを披露するサロン参加者



笛や太鼓の音色を元気に響かせる子どもたち

8/22 響け子どもしやぎり 伝統芸能フェスティバル2009

昨年までの『子どもしやぎり大会』を発展させ、今年は、狩野川リバーサイドパークで、『伝統芸能フェスティバル2009』を開催しました。しやぎりステージは、守木子供しやぎり、山木子供しやぎり、三福子供しやぎり、町屋子供しやぎり、田京区子供しやぎり、四日町子ども会、小坂子供しやぎりグループ、南若子供しやぎり、宗光寺しやぎり保存会の市内九団体が出演し、笛や太鼓の音色を元気いっぱいに響かせました。

また、ゲストステージとして県立修善寺工業高校郷土芸能部、大仁音楽会、民芸楽団奏鳴曲が出演。会場にはかき氷や焼きそばなどの模擬店も並びました。

8/24 大仁庁舎で登記証明 法務局登記証明書等交付窓口設置

不動産登記や商業・法人登記、会社・法人の印鑑証明書などが、市役所大仁庁舎で取得できるようになりました。

昨年三月に静岡地方法務局大仁出張所が統廃合されて以降、伊豆の国市や伊豆市で登記証明書等が必要な人は、法務局沼津支局まで出向き申請していましたが、利便性を向上するため行政が要望し、同法務局が窓口を開設しました。窓口は、市役所大仁庁舎一階の市民サービス課隣りに証明書発行機を設置し、同法務局の臨時職員を配属しました。利用時間は月～金曜日の九時～十六時半です。問合せ 静岡地方法務局沼津支局 電話055(923)1201



法務局職員案内で発行機を操作する利用者

8/27 地区あげて川を愛する 奈古谷区・長崎区河川愛護団体表彰

この日、県庁で開催された、平成二十一年度河川、海岸・道路愛護団体等表彰式で、奈古谷区（鈴木繁区長）と長崎区（鈴木一美区長）が、河川愛護団体表彰を受賞しました。

この表彰は、河川、海岸・道路の愛護運動に尽力している団体に対して県より贈られるもので、二区は長年にわたる河川の草刈り・清掃が評価されている受賞となりました。市では、旧大仁町時代に二団体が受賞しており、今回を含め延べ四団体が表彰されました。



県庁前で記念撮影をする受賞者ら

9/7 田京区も川の友だちに 深沢川リバーフレンドシップ調印

県管理の一、二級河川に対する地域の美化活動を支援する『リバーフレンドシップ』の調印が、県沼津土木事務所と田京区、伊豆の国市の三者で交わされました。

田京区が同意したのは、海陸橋～田京橋までの深沢川堤防約三百三十メートル間の河川美化活動。県からは草刈り機七台、軍手三百六十双などが支給されました。田京区の堀江賢司区長は、資機材を活用し、区として一層河川愛護に努めたい」と語りました。今回の同意で同事務所管内のリバーフレンドシップは計十三団体になり、市内では、昨年三月に浮橋区、江間地区、長崎区、奈古谷区が調印しています。



(左から)調印した県沼津土木事務所と田京区、市